

県内経済の動き

概況

〔10月～12月の動き〕

緩やかな持ち直しの動きが続く

鉱工業生産指数（10月）は2カ月ぶりに前月比低下、通関輸出額（11月 細島港）は9カ月連続で前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（11月 全店ベース）は12カ月連続で前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（12月）は3カ月連続で前年同月比増加、新設住宅着工戸数（11月）は2カ月連続で前年同月比減少した。公共工事（12月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（11月:1.46倍）は前月比横ばいとなった。12月の企業倒産は、前月比1件減の2件となり、負債総額は前月比6億76百万円減の1億70百万円となった。

県内経済は、総じて緩やかな持ち直しの動きが続いているが、百貨店・スーパー販売額の前年割れが長引くなど、個人消費の一部に弱さがみられる。